

名前 : Muhammad Fahroji Nurhidayat
学生番号 : 2500547
大学名 : Universitas Pendidikan Indonesia

「日本語を生かした将来キャリアの希望」

私は将来、日本語を生かした仕事をしたいと思っています。私は日本語を勉強する前は、将来どんな仕事をしたいのか、あまり考えていませんでした。しかし、日本語を勉強している時に、日本語を使う仕事に興味を持つようになりました。日本語を勉強することは、ただ日本語を話せるようになるだけではなく、日本の文化や社会について知ることでもあるので、とても面白いと思っています。

私が日本語を勉強し始めたきっかけは、友達から日本語を勉強してみないかと誘われたことです。最初は日本語についてあまり知りませんでした。しかし、少しずつ勉強していく時に、日本語の面白さを感じるようになりました。特に、日本語には同じような意味でも使い方が違う言葉がたくさんあります。また、漢字、ひらがな、カタカナなど、いろいろな文字を使うことも日本語の特徴だと思います。難しいところもありますが、新しい言葉や漢字を覚えた時は嬉しいです。

将来の仕事については、通訳や翻訳の仕事に興味があります。通訳は、日本人とインドネシア人がお互いに話を理解するために必要な仕事です。例えば、日本人がインドネシアで仕事をする時、日本語を話せない人とのコミュニケーションを助けることができます。また、翻訳は、日本語の文章をインドネシア語にしたり、インドネシア語を日本語にしたりする仕事です。どちらの仕事も、日本語の能力だけではなく、相手の文化や考え方を理解することが大切だと思います。

私は将来、日本人とインドネシア人をつなぐことができる人になりたいです。日本とインドネシアには、文化や生活習慣などに違うところがあります。そのため、お互いの文化をよく理解していないと、コミュニケーションが難しくなることもあると思います。日本語を使って、言葉だけではなく、それぞれの考え方や文化も伝えることができれば、とてもいい仕事ができると思います。

そのため、これからもっと日本語を勉強したいです。特に、漢字や語彙を増やして、日本語で自分の考えを上手に伝えられるようになりたいです。また、会話の練習もたくさんして、日本人と話す時に緊張しないようになりたいです。そして、日本の文化や社会、仕事の習慣についても勉強したいと思っています。日本語だけを勉強するのではなく、日本について色々なことを知ることが、将来の仕事にも役に立つと思います。

もちろん、将来の仕事が自分の思った通りになるとは限りません。しかし、今からできることを少しずつ頑張ることが大切だと思います。大学での勉強を大切にしていって、日本語の授業だけではなく、自分でも日本語を使う時間を増やしたいです。例えば、日本語の本を読んだり、日本語のニュースを見たり、日本人と話したりして、日本語を使う経験を増やしたいです。

将来、私は日本語を使って人の役に立つことができる仕事をしたいです。そして、自分が勉強してきた日本語を仕事で使いながら、さらに成長していきたいです。日本語を勉強したことが将来の自分にとって大きな力になるように、これからもあきらめずに勉強を続けたいと思います。